

IPレジストリシステムにおける 認証の強化について

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 佐藤 香奈枝

目次

- 背景
- 対応の方針
- 実施内容
- 影響
- スケジュール
- 今後について
- 質疑応答

本日本話する内容

- IPレジストリシステムで認証の強化を検討しています。
 - 今回は検討内容の概要をお伝えします。
 - 次回連絡会でより具体的なご説明をした後に実施します。

背景

- IPレジストリシステムでは、一部Mail Fromによる認証を行なっていますが、十分とは言えません。
- 正当な指定事業者からの申請であることを、確認する必要があります。
- APNICなどでもMail Fromによる認証は廃止されつつあります。
- JPRS JPドメイン名レジストリシステムへ認証を導入してから1年以上経過しました。
 - 運用は軌道に乗り、安定しています。

対応の方針

- **ID/パスワード**による認証を導入します。
 - JPRSのJPドメイン名レジストリシステムと同じ方法を採用します。
- ネットワーク情報の変更を伴う申請手続きは、IP指定事業者に限定します。
 - まずネットワーク情報(PAアドレス)のみを対象とします。
 - その他の情報、PIアドレスについては別途対応します。

対象となる申請

- ネットワーク情報(PAアドレス)の変更を伴う申請

割り当て報告、返却、リナンバ、
記載事項変更、逆引きDNS変更

- 対象窓口
 - `apply@ip.nic.ad.jp`
 - `apply@db.nic.ad.jp`
 - `apply@dns.nic.ad.jp`

申請者

- CIDR Block 内のアドレスのネットワーク情報の登録・変更・削除を伴う申請は、そのブロックの管理を委任された指定事業者に制限します。



- 割り当て報告は指定事業者が行なうにも関わらず、記載事項変更等の一部の申請手続きはエンドユーザからも行なえていました。
- そのため指定事業者が顧客の情報を把握することが困難になっていました。

申請手続きの変更

- ID/パスワードにより指定事業者を認証します。
- 認証に成功した指定事業者からの申請のみを処理します。

ID/パスワードの保護

- 暗号化された申請メールの受付を行います。
 - 暗号化には **PGP** を使用します。
 - 暗号化は必須ではありませんが、ご利用にならない場合は、申請後にパスワードを変更するなど、指定事業者自身での漏洩対策をお願いします。

ID/パスワードの管理

- 各指定事業者にIDと2種類のパスワードを配布します。
 - ① 指定事業者パスワード(管理者用)
 - ② 申請業務パスワード(担当者用)
- 2種類のパスワードの権限は異なります。
 - 申請業務には②を使用し、①はパスワード等の管理に使用します。

その他の変更

- 以下の手続きでも、同様にID/パスワードによる認証の実施に向けて準備を進める予定です。

指定事業者情報の変更(電子メール)、
申請の取り下げ

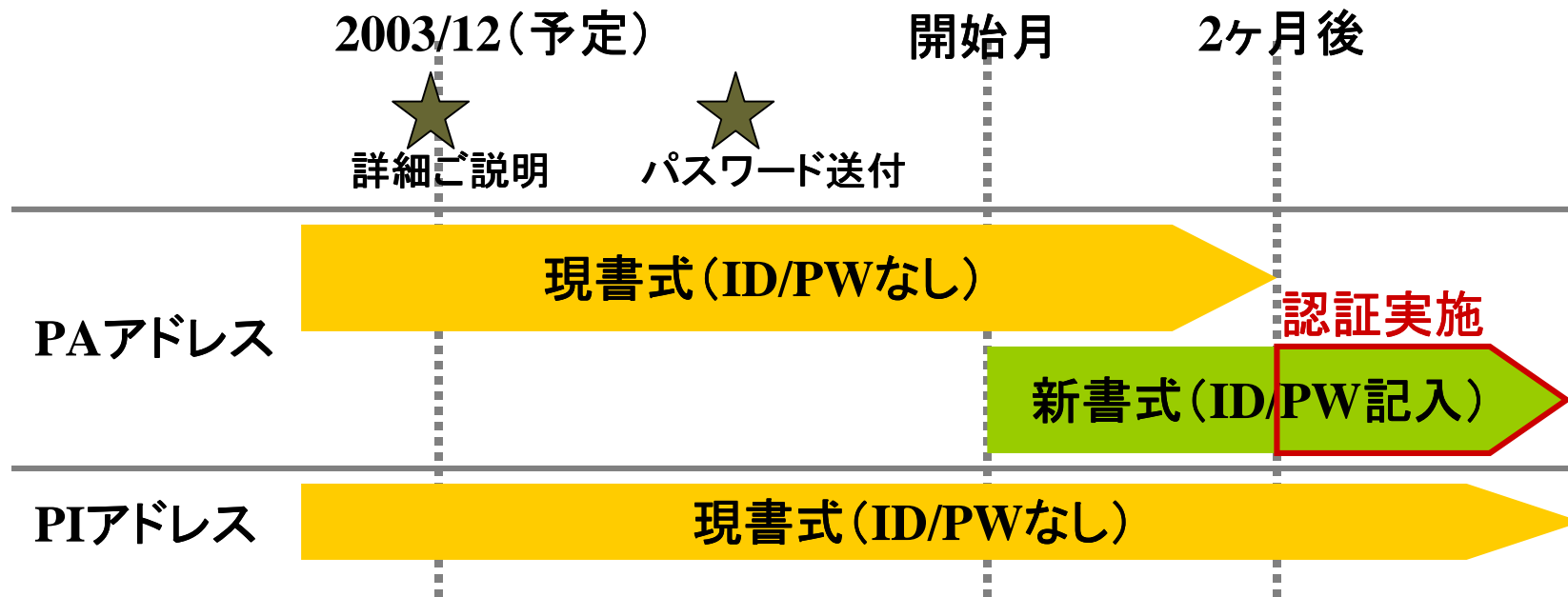
- 実施時期は前述の各申請への認証実施より遅れる可能性があります。

影響

- ID/パスワードが届きます。
 - お送りするID/パスワードは、紛失・漏洩等のない様、管理をお願いします。
- 各種申請書式が変わります。
 - 申請の都度、ID/パスワードを記入します。
 - PAアドレスの申請には現書式は使用できなくなります。

スケジュール

- 2004年春の実施に向けて、現在調整中です。
- 次回の指定事業者連絡会(2003年12月予定)で、より具体的な内容をご案内します。





今後について

- IPアドレス管理業務全般において、今後も継続的にセキュリティ向上に取り組めます。
 - 対象範囲の拡大
 - 認証方式の追加
 - 表示情報・項目の制限

ご理解、ご協力をお願いします。

質疑応答

